

令和2年度

事業報告書
決算報告書

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー

目 次

第1表 事業報告書

1	設立目的及び概況	1
2	役員等の状況	1
3	理事会及び評議員会の開催	5
4	職員の状況	6
5	事業の実施状況	7

第2表 決算報告書

1	貸借対照表	3 1
2	貸借対照表内訳表	3 2
3	正味財産増減計算書	3 3
4	正味財産増減計算書内訳表	3 5
5	財務諸表に対する注記	3 7
6	附属明細書	3 9
7	財産目録	4 0
8	収支計算書	4 1
9	収支計算書内訳表	4 3
10	収支計算書に対する注記	4 6

第1表 事業報告書

令和2年度公益財団法人広島観光コンベンションビューロー事業報告書 (令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

国内外からのコンベンション（各種会議・大会、展示会・見本市等をいう。）の誘致及び開催支援、観光客の誘致並びに観光資源の整備・開発等を行うことにより、広島県におけるコンベンション並びに広島市及びその周辺地域における観光の振興を図り、もって地域経済の活性化並びに国際相互理解の増進及び文化の向上に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

平成7年12月1日

(平成23年9月1日 公益財団法人へ移行)

イ 基本財産

9億7,780万円

ウ 実施事業

- (ア) コンベンションの誘致、開催及びそのための支援
- (イ) コンベンションシティ広島、県内コンベンション施設等の広報及び宣伝
- (ウ) コンベンション・観光の企画、調査及び開発
- (エ) コンベンション・観光関連情報の収集及び提供
- (オ) 観光資源の整備・開発及び観光関係行事の実施
- (カ) 観光客の受入態勢の整備
- (キ) 観光宣伝・誘致活動の推進
- (ク) 広島市観光施設等の受託運営及び附帯事業の運営
- (ケ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数（令和3年3月31日現在）

理事長	1人
副理事長	3人
専務理事	1人
常務理事	2人
理事	28人
監事	2人
評議員	28人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
令和 2年 4月 1日	専務理事	山 本 秀 樹	就 任
令和 2年 4月 1日	理 事	末 政 直 美	就 任
令和 2年 4月 1日	理 事	田 中 啓 勝	就 任
令和 2年 4月 1日	理 事	岡 村 清 治	就 任
令和 2年 4月 15日	副理事長	下 村 純 一	辞 任
令和 2年 6月 30日	理 事	土 橋 卓 也	辞 任
令和 2年 7月 16日	理 事	加 藤 和 行	就 任
令和 2年 7月 16日	理 事	門 屋 秀 臣	就 任
令和 2年 7月 30日	副理事長	加 藤 和 行	就 任
令和 2年 9月 3日	理 事	朴 曜 子	辞 任
令和 2年 11月 30日	監 事	隈 元 泰 治	辞 任
令和 2年 12月 31日	理 事	植 田 伸 幸	辞 任
令和 3年 1月 18日	監 事	大 神 崇 巧	就 任
令和 3年 1月 31日	理 事	武 井 秀 樹	辞 任
令和 3年 3月 22日	理 事	小 坂 正 宏	就 任
令和 3年 3月 31日	理 事	黒 木 正 之	辞 任
令和 3年 3月 31日	理 事	大 木 淳 雄	辞 任
令和 3年 3月 31日	理 事	関 康 彦	辞 任

イ 令和3年3月31日現在の理事・監事は次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
理 事 長	池 田 晃 治	令和 元年 11月 9日
副 理 事 長	棕 田 昌 夫	平成 25年 4月 1日
副 理 事 長	仁 田 一 郎	平成 23年 9月 1日
副 理 事 長	加 藤 和 行	令和 2年 7月 30日
専 務 理 事	山 本 秀 樹	令和 2年 4月 1日
常 務 理 事	倉 石 雅 基	平成 29年 4月 1日
常 務 理 事	黒 木 正 之	平成 30年 4月 1日
理 事	來 山 哲	平成 30年 12月 14日
理 事	末 政 直 美	令和 2年 4月 1日
理 事	伊 木 剛 二	平成 31年 4月 1日

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
理 事	平 野 喜 隆	令和 2年 1月 15日
理 事	小 坂 正 宏	令和 3年 3月 22日
理 事	今 井 誠 則	平成 23年 9月 1日
理 事	原 田 秀 二	平成 23年 9月 1日
理 事	田 中 啓 勝	令和 2年 4月 1日
理 事	金 井 正 樹	平成 28年 10月 4日
理 事	野 住 伸 貴	平成 23年 9月 1日
理 事	香 川 基 吉	平成 23年 9月 1日
理 事	沖 田 和 也	平成 27年 10月 23日
理 事	前 泰 弘	平成 23年 9月 1日
理 事	岡 村 清 治	令和 2年 4月 1日
理 事	兼 重 慎 一 郎	平成 31年 4月 1日
理 事	大 木 淳 雄	平成 31年 4月 1日
理 事	門 屋 秀 臣	令和 2年 7月 16日
理 事	面 出 成 志	平成 26年 3月 18日
理 事	木 下 飛 星	平成 27年 10月 22日
理 事	水 内 美 輝	平成 29年 11月 28日
理 事	井 上 一 男	平成 28年 10月 4日
理 事	倉 田 和 典	平成 23年 9月 1日
理 事	古 田 裕 三	平成 23年 9月 1日
理 事	菊 池 三 春	平成 31年 4月 1日
理 事	関 康 彦	令和 元年 7月 29日
理 事	小 谷 泰 造	平成 23年 9月 1日
理 事	尾 崎 康 隆	平成 30年 5月 18日
理 事	中 島 和 雄	平成 23年 9月 1日
監 事	曾 川 祐 治	平成 26年 9月 3日
監 事	大 神 崇 巧	令和 3年 1月 18日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
令和 2年 4月 1日	評 議 員	増 本 義 伸	就 任
令和 2年 6月 21日	評 議 員	森 田 茂	辞 任

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
令和 2年 6月22日	評 議 員	北 野 眞	辞 任
令和 2年 6月24日	評 議 員	重 藤 隆 文	辞 任
令和 2年 6月30日	評 議 員	姫 野 浩	辞 任
令和 2年 7月16日	評 議 員	山 岡 考 典	就 任
令和 2年 7月16日	評 議 員	藏 原 潮	就 任
令和 2年 7月16日	評 議 員	絹 川 智 紹	就 任
令和 2年 7月16日	評 議 員	皆 本 恭 介	就 任
令和 2年12月31日	評 議 員	上 野 慎一郎	辞 任
令和 3年 1月31日	評 議 員	藤 岡 成 輝	辞 任
令和 3年 2月18日	評 議 員	原 めぐみ	辞 任
令和 3年 3月15日	評 議 員	杉 川 綾	就 任
令和 3年 3月16日	評 議 員	野 浪 健	就 任
令和 3年 3月31日	評 議 員	佐 伯 安 史	辞 任
令和 3年 3月31日	評 議 員	日 高 洋	辞 任
令和 3年 3月31日	評 議 員	安 東 則 好	辞 任

イ 令和3年3月31日現在の評議員は次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
評議員 (評議員会会長)	若 林 眞 一	平成31年 4月 1日
評 議 員	越 智 光 夫	平成27年 6月 1日
評 議 員	佐 伯 安 史	平成29年 4月 1日
評 議 員	日 高 洋	平成30年 4月 1日
評 議 員	植 野 実智成	令和 2年 1月15日
評 議 員	石 井 正 朗	平成27年 6月11日
評 議 員	梅 木 敏 明	平成27年 6月11日
評 議 員	杉 川 綾	令和 3年 3月15日
評 議 員	野 浪 健	令和 3年 3月16日
評 議 員	増 本 義 伸	令和 2年 4月 1日
評 議 員	山 岡 孝 典	令和 2年 7月16日
評 議 員	五 弓 博 文	平成29年 4月 1日
評 議 員	平 瀬 春 男	平成30年 5月18日
評 議 員	上 原 田 誠	平成31年 4月 1日
評 議 員	千 玉 敏 之	平成29年11月14日

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
評 議 員	石 田 文 典	平成28年10月 4日
評 議 員	赤 木 康 秀	平成31年 4月 1日
評 議 員	藏 原 潮	令和 2年 7月16日
評 議 員	辻 文 治	平成30年 5月18日
評 議 員	絹 川 智 紹	令和 2年 7月16日
評 議 員	橘 高 知 樹	令和 2年 3月 6日
評 議 員	尾 木 朗	平成30年12月14日
評 議 員	皆 本 恭 介	令和 元年 7月29日
評 議 員	藤 家 豊	平成30年 5月18日
評 議 員	佐 藤 公 俊	平成30年12月14日
評 議 員	船 木 孝 哲	平成31年 4月 1日
評 議 員	安 東 則 好	平成30年12月14日
評 議 員	大 谷 博 国	平成24年 3月22日

3 理事会及び評議員会の開催

(1) 理事会

開 催 日 等	議 決 事 項
令和 2年 4月 1日 (決議の省略の方法)	1 専務理事の選定
令和 2年 5月21日 (第1回理事会) (決議の省略の方法)	1 令和元年度事業報告 2 令和元年度決算
令和 2年 7月30日 (決議の省略の方法)	1 副理事長の選定
令和 3年 1月19日 (決議の省略の方法)	1 評議員会の招集
令和 3年 3月25日 (第2回理事会)	1 令和3年度事業計画 2 令和3年度収支予算

(2) 評議員会

開 催 日 等	議 決 事 項
令和 2年 4月 1日 (決議の省略の方法)	1 理事の選任 2 評議員の選任

開 催 日 等	議 決 事 項
令和 2 年 6 月 5 日 (第 1 回評議員会) (決議の省略の方法)	1 令和元年度事業報告 2 令和元年度決算
令和 2 年 7 月 1 6 日 (決議の省略の方法)	1 理事の選任 2 評議員の選任
令和 2 年 1 2 月 1 8 日 (決議の省略の方法)	1 監事の選任
令和 3 年 3 月 4 日 (決議の省略の方法)	1 理事の選任 2 評議員の選任
令和 3 年 3 月 2 5 日 (第 2 回評議員会)	1 令和 3 年度事業計画 2 令和 3 年度収支予算

4 職員の状況

令和 3 年 3 月 3 1 日現在の職員の状況は、次のとおりである。

区 分	部 長	課 主 長 幹	主 主 任 査	主 事	再 嘱 雇 託	合 計
企 画 総 務 部	(1) [※]	3	2	0	1	6
M I C E 推 進 部	4	1	1	4	1	1 1
魅 力 創 造 部	4	5	4	5	0	1 8
合 計	8	9	7	9	2	3 5

※ 企画総務部長は常務理事の事務取扱

5 事業の実施状況

広島観光コンベンションビューローは、これまでグローバルMICE都市にふさわしいMICEの振興及びインバウンドを中心とする観光の振興に係る施策を積極的かつ機動的に推進してきたが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により二度にわたり緊急事態宣言が行われるなど、社会経済活動が大きく制限された中で、MICE振興事業や観光振興事業等について新しい生活様式に対応した事業展開を積極的かつ機動的に行った。

【公益目的事業】

I MICE振興事業

1 情報収集事業

(1) MICE関連機関からの情報収集

一般社団法人日本コンgres・コンベンション・ビューロー（以下「JCCB」という。）のコンベンション開催意向調査結果、4,428件のデータを活用し、効率的に誘致活動を行った。

また、国際会議やイベントを主催する約100か国1,100の団体が加盟する国際会議協会（ICCA）、JCCB、独立行政法人国際観光振興機構（以下「JNTO」という。）及び一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）の会員となり、国際会議を主としたMICE誘致のために有益な情報収集を行った。

(2) 顧客管理システムの運用

コンベンション調査やMICE関連機関等から収集した情報を蓄積する顧客管理システムを更新するとともに、これまで蓄積してきた学会等のデータを分析するなどして、効率的に誘致・支援活動を行った。

2 MICEの誘致・支援事業

MICE主催者に対して広島のPRや各種の誘致・支援事業を展開し、広島でのMICE開催の促進を図った。

○令和2年度MICE開催状況

区 分	国 際 会 議	国 内 会 議	インセンティブ旅行	合 計
MICE件数	— 件 (目標 110 件)	33 件	— 件	33 件 (目標 650 件)
参加者延べ人数	— 人	8,107 人	— 人	8,107 人 (目標 350,000 人)

【評 価】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、多くの開催予定の会議等が中止や延期となり、目標を大きく下回った。

(1) 誘致活動の実施

ア グローバルMICE強化事業

(ア) ロビー活動支援事業

第15回国際カイアシ類会議の開催地を決定する理事会に職員を派遣し、会議主催者とともにロビー活動を実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、オンライン投票で開催地を決定することになったため、実施に至らなかった。

(イ) テクニカルビジットのモデル事業の実施

I NORMS 2020の参加者を対象に、地元企業などの産業技術や研究の実地視察及び受入企業との交流を行うテクニカルビジットのモデル事業を実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で会議が開催されず、実施に至らなかった。

(ウ) 福岡市及び北九州市のMICE推進機関との共同事業の実施

「AIME 2021」への共同出展

- ・開催期間 令和3年3月15日（月）～26日（金）

- ・開催場所 オーストラリア・メルボルン

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止）

(エ) シャトルバス等の運行助成

国際会議等の開催時に会場間又は会場と交通拠点間のシャトルバス等の運行助成を行うこととしていたが、助成対象会議が中止となったため、実施に至らなかった。

(オ) 誘致ツールの作成

会議開催の誘致・支援活動を充実させるため、MICE施設の詳しい情報やユニークベニュー等を紹介したMICEプランナーズガイドの改訂版を作成した。

- ・作成部数 300部



(カ) グローバルMICE都市・都市力強化対策本部への参加

グローバルMICE都市（12都市）及びMICE推進機関等で構成する「グローバルMICE都市・都市力強化対策本部」に参加し、情報交換を行うこととしていたが、開催中止となった。

イ 個別誘致活動の実施

国内のMICE主催団体等に対し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、安全を確保したうえで誘致活動を行った。

(ア) 首都圏等での活動

主として、首都圏に本部を置く団体、学術会議本部、企業等に誘致活動を展開した。

- ・訪問件数 35件

- (イ) 広島県内での活動
県内の大学及び各教育機関、各種企業・団体等に対し、誘致活動を展開した。
・訪問件数 192件

ウ 海外MICE専門見本市における誘致活動

- (ア) 「IMEX 2020」への出展
・開催期間 令和2年5月12日(火)～14日(木)
・開催場所 ドイツ・フランクフルト
(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止)
- (イ) 「IMEX America 2020」への出展
・開催時期 令和2年9月15日(火)～17日(木)
・開催場所 アメリカ・ラスベガス
(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止)
- (ウ) 「AIME2021」への共同出展【再掲】
・開催期間 令和3年3月15日(月)～26日(金)
・開催場所 オーストラリア・メルボルン
(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止)

エ 国際MICEエキスポ(IME2021)への出展

国内唯一のMICE総合見本市・トレードショーである国際MICEエキスポに出展(オンライン参加)し、MICE開催の決定権を有するキーパーソンなどに対して、広島での開催を働きかけた。

- ・開催期間 令和3年2月24日(水)～26日(金)
- ・出展者数 81団体
- ・参加者数 161人
- ・主催 JNTO、JCCB
- 【目標】 商談件数 20件
- 【実績】 商談件数 16件
- 【評価】 初めてのオンライン開催のため参加者数が少なかったことから、商談件数は目標に達しなかったが、国内会議7件、インセンティブ旅行9件の情報を得た。



オ キーパーソンの視察受入

MICE開催の意向を有するキーパーソン等の視察受入を行い、MICE施設、観光資源、受入態勢等、広島の魅力を紹介・案内することにより、広島での開催を働きかけた。

- (ア) 医療系アジア太平洋地区会議のコアPCOのプレジデントなど2人
・実施日 令和2年11月5日(木)
- (イ) 第22回日本音楽療法学会学術大会大会長など主催者8人
・実施日 令和3年3月28日(日)

カ 広島産学公連携MICE推進協議会の運営

「広島産学公連携MICE推進協議会」及び当該協議会内に設置する「インセンティブ部会」を運営し、広島におけるMICE誘致を推進した。

- ・広島産学公連携MICE推進協議会 開催回数 2回

※うち1回は、広島初のハイブリッドで開催した「第79回日本癌学会学術総会」の主催者による講演も併せて実施した。

- ・同協議会 インセンティブ部会 開催回数 4回

※うち3回は、観光庁が主催する「海外のインセンティブ旅行誘致に関する支援事業」に、広島市及び当財団職員とともに、インセンティブ部会員も参加し、インセンティブ旅行誘致のノウハウを学んだ。



キ 中国・四国地区コンベンション推進協議会への参画

中国・四国地区のコンベンション推進機関14団体で構成する中国・四国地区コンベンション推進協議会において、コンベンションに関する情報の収集・交換を行った。

(ア) 総会への参加

- ・開催日 令和2年7月16日(木)
- ・会場 高松港旅客ターミナルビル7階会議室(高松市)
- ・視察先 高松シンボルタワー(スカイツアー)
- ・参加者数 13団体27人

(イ) コンベンション誘致懇談会への出展

- ・開催日 令和2年11月26日(木)
 - ・会場 品川プリンスホテル(東京都)
- (新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止)

ク 「海外のインセンティブ旅行誘致に関する支援事業」への参加【新規】

広島市が対象都市に選定された観光庁主催の「海外のインセンティブ旅行誘致に関する支援事業」へ参加した。この事業において、インセンティブ旅行を誘致するためのモデルコースを策定し、ホームページに掲載するなどのプロモーション活動を開始した。



(2) 支援活動の実施

ア コンベンション誘致助成事業

コンベンション主催者に対し、開催経費の一部を助成することにより、広島での開催を促進した。

第79回日本癌学会学術総会(ハイブリッド開催)

- ・開催期間 令和2年10月1日(木)～3日(土)
※オンライン配信 令和2年10月1日(木)～31日(土)
- ・参加者数 870人
※オンライン参加者数3,449人(うち海外151人、参加国数13か国)
- ・助成金額 300万円

イ コンベンション開催準備資金貸付事業

コンベンション主催者に対し、開催に必要な準備資金の貸付を行うことにより、広島での開催を促進した。

第11回分子インプリンティングに関する国際会議

- ・開催期間 令和3年7月4日（日）～9日（金）
- ・参加者数 300人
- ・貸付金額 100万円

ウ 大規模会議等への支援

大規模会議等に対して、広島観光親善大使や外国語ボランティアガイドの派遣、伝統芸能等の提供、歓迎用看板等の掲出及び記念品等の提供等を行い、参加者に対し歓迎の意を表すこととしていたが、ほとんどの支援対象会議が中止となったため、JR広島駅の歓迎用看板掲出及び記念品等の提供のみの実施となった。



JR広島駅の歓迎用看板



記念品等の提供

3 広報・宣伝事業

(1) 機関紙「ひろしま観光コンベンション」の発行

コンベンションの開催やポストコンベンション情報、観光情報、ビューローの活動状況等を掲載した機関紙「ひろしま観光コンベンション」を発行し、コンベンション主催者等への情報提供を行った。

号 数	発 行 月	発 行 部 数
第119号	令和2年 7月	7, 200部
第120号	令和2年10月	7, 200部
第121号	令和3年 1月	7, 200部
第122号	令和3年 4月	7, 200部

(2) ホームページの運用

ア MICE施設の情報やMICEの開催情報等を主催者等へ提供した。また、インセンティブ旅行誘致の支援メニューやモデルコースを掲載した新しいページを作成し、プロモーションを行った。

- ・アドレス <https://www.hiroshimacvb.jp/>
- ・訪問者数 46, 167人
- ・ページビュー数 135, 560ページビュー

イ コンベンションカレンダーの更新

広島で開催予定の会議等をまとめたカレンダーを3か月ごとに更新し、ホームページ上で公開した。

4 調査・企画事業

(1) 経済波及効果調査の実施

コンベンション主催者及び参加者に対し支出に関するアンケート調査を行い、コンベンション開催に伴う経済波及効果を算出した。

(令和2年度経済波及効果額)

総支出額	経済波及効果額	経済波及倍率
3億4,490万円	5億3,451万円	1.55倍

算定は、参加者1人当たりの支出額（主催者の支出額を含む。過去5か年平均）4万3,113円及び広島市産業連関表により算定したその経済波及効果額6万6,814円のそれぞれの額に、令和2年度コンベンション延べ参加者数8千人を乗じた額としている。

(2) 観光・コンベンションセミナーの開催

観光及びコンベンションに関する知識・ノウハウの習得、接遇能力の向上を図るため、広島商工会議所との共催により、コンベンション・観光関連団体、企業を対象としたセミナーを開催した。

- ・開催日 令和3年2月12日(金)
- ・会場 グランドプリンスホテル広島
- ・主催 (公財)広島観光コンベンションビューロー、広島商工会議所
- ・内容 テーマ 「安心・安全な観光都市広島をめざして」
講師 高松 正人氏（観光レジリエンス研究所 代表）

【実績】 参加者数 71人

【評価】 観光に関連する事業者や団体が、想定される危機や災害にいかに対応するべきか、また、新型コロナウイルス感染症の影響やコロナ後の観光復興について、豊富なデータに基づき丁寧に分かりやすく説明された。

災害時の地域住民と観光客とのニーズの違いや危機対応・事業継続への備えの必要性などを再確認することができた。



高松講師



講演の様子

II 観光振興事業

1 観光客の受入態勢整備事業

(1) 外国人観光客受入支援の実施

ア 「広島トラベルマート」の開催

令和2年7月に開催することとしていた「インバウンド受入ビジネスフェア」の開催方法を専用ページでのオンラインによる展示商談会に切り替え、令和3年2月に「広島トラベルマート」と改称して開催した。

開催期間中、セミナー（4回）及び出展者交流会並びに集中商談日での商談会を実施した。

- ・開催期間 令和3年2月1日（月）～28日（日）
セミナー 2月5日（金）、8日（月）、17日（水）、19日（金）
出展者交流会 2月16日（火）
集中商談日 2月22日（月）
- ・出展社数 33社34枠
- ・登録者数 258人（事前登録制）
- ・延べ閲覧者数 2,887人
- ・商談件数 64件
- ・成約件数（見込みを含む） 24件



専用ページ トップページ



専用ページ 出展者紹介

イ 外国人観光客の受入対応が可能な飲食店の増強

(ア) セミナーの開催

広島県の飲食店に向けたセミナー及びベジタリアン向けの植物由来の代替肉を使用した料理の試食会を実施した。

- ・開催日 令和2年10月6日（火）
- ・会場 セミナー ビューロー会議室
試食会 レストラン「メルキュール」
- ・講師 フードダイバーシティ株式会社 代表取締役 守護 彰浩氏
- ・参加者数 32人（うちオンライン参加者数21人）

(イ) 対応可能な飲食店の紹介・PR

ベジタリアン及びムスリム対応可能な飲食店の一覧を Google Map 上で提供できるように整備し、観光案内所や外国人観光客向けブログ「Hiroshima Days - Be a Local」、広島広域観光情報サイト「ひろたび」及び「Explore Hiroshima」で情報提供を行った。

- ・掲載店舗数 ベジタリアン対応 44店
ムスリム対応 12店



セミナー



掲載地図 (Map data ©2021 Google)

ウ 広島広域都市圏内の観光案内所等との連携強化

広島市、呉市など9市町の観光案内所等との連携を図り、コミュニケーションツールである「Slack」を活用し、タイムリーな観光情報を共有することにより、観光客の利便性の向上を図り、満足と安心を与える環境を整備した。



(参考) Slack 画面

エ 観光客受入向上セミナーの開催

観光客受入の意識向上とビジネス化への機運醸成を図り、観光客受入に関する最新情報を関係者間で共有するため、セミナーを開催した。

- ・テーマ 「今こそ、オンライン体験販売にチャレンジ！」
- ・講師 株式会社地域ブランディング研究所 代表取締役 吉田 博詞氏
株式会社 mint CEO 石飛 聡司氏

- ・開催日 令和2年9月23日(水)
- ・会場 広島商工会議所ビル会議室
- ・参加者数 87人(うちオンライン参加者数73人)



オンラインバウンド事業道場の開催【新規】

観光事業者の人的交流ができる場を開設し、SNS上で情報提供や参加者相互の情報交換を行うとともに、オンラインでの交流会を開催した。

- ・道場への登録者数 123人
- ・交流会の実施回数 8回
- ・交流会延べ参加者数 52人



オンライン交流会の様子

2 観光資源整備・開発事業

(1) 広島市観光振興ネットワーク会議の運営

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会議の開催に代えて資料送付を行うことにより、観光関係者間の情報共有を図った。

- ・資料発送日 令和2年5月28日(木)

(2) 広島湾ナイトクルージングの実施

船舶事業者等で構成する実行委員会の事務局として、広島湾一帯を新たな観光ゾーンとして定着させるため、「広島湾ナイトクルージング」を実施した。

- ・期間 令和2年7月18日(土)～10月31日(土)
- ・航路数 6航路
- ・乗船者数 3,662人



広島港宇品旅客ターミナルのライトアップ

(3) 観光プロダクトの開発

当面の観光需要の回復を担う国内観光の需要に迅速かつ的確に対応するとともに、本格的なインバウンドの回復に備えた受入態勢の充実強化を図るため、観光プロダクト開発に取り組む事業者や起業家に対し、観光プロダクト開発の計画作成や試行・マーケティング調査、広報等の支援を行った。

ア 事業計画作成への支援

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況に応じて、職員による相談、助言や関係機関、関連事業者の紹介を行った。

また、外部機関が実施したイベント・行事への講師派遣やモニター参加などを行った。

【相談、助言の実績】

主な内容

- ・ 4月～5月頃（緊急事態宣言が発令されていた時期）

観光事業者とのオンライン交流会やヒアリングを通して、意見や要望を国県等の観光関連部署や観光関連団体と共有するとともに、観光事業者には各種公募や補助事業の情報提供を行った。

- ・ 6月～7月頃（新型コロナウイルス感染症の第一波が収束した時期）

観光事業者には各種公募や補助事業の情報提供を行い、提出案件の相談に応じるとともに、GoTo トラベル事業の開始に迅速に対応できるよう情報収集・提供を行った。

- ・ 7月下旬～11月頃（GoTo トラベル事業が実施されていた時期）

各種公募や補助事業の提出案件の相談、助言を行うとともに、オンライン体験やオンラインツアーなど新しい事業展開の情報提供を行った。

- ・ 12月～3月（新型コロナウイルス感染症の第三波が到来した時期）

各種公募や補助事業の採択案件について、モニター参加や広報などの協力を行うとともに、国県等の新年度事業の情報提供や相談、助言を行った。

【講師派遣などの実績】

実施日	案件名	支援内容
令和2年 5月19日(火)	sokoiko! オンラインツアー	モニター参加 ・ ツアー内容への提言

実施日	案件名	支援内容
令和2年 5月30日(土)	MyJapan オンライン体験ツアー 「広島藩の薬草園跡に佇む隠れ家 茶室へご案内ツアー」	モニター参加 ・体験内容への提言
令和2年 5月～11月	芸備線対策協議会事業への参画	利用促進事業の提案
令和2年 7月23日(木)	日本インバウンドサミット2020 (オンライン開催)	パネリストとして参加
令和2年 8月3日(月)～ 4日(火)	湯来観光地域づくり公社 体験型アクティビティモニタリングツアー	モニター参加 ・ツアー内容への提言
令和3年 1月12日(火)	比治山大学短期大学部 オンライン講座	講師派遣 ・広島の観光概況の説明
令和3年 3月11日(木)	北広島町大朝モニタリングツアー 「TripCycling 大朝」	モニター参加 ・ツアー内容への提言
令和3年 3月18日(木)	北広島町大朝モニタリングツアー 「Otsukai 大朝」	モニター参加 ・ツアー内容への提言



日本インバウンドサミット2020



湯来観光地域づくり公社
体験型アクティビティモニタリングツアー

イ 実践の場の提供（オンライン体験・オンラインツアーの商品化支援）

観光プロダクト開発に取り組む事業者のメニューを商品化するため、オンライン体験・オンラインツアーの造成支援を行った。

【参考】

※オンライン体験・オンラインツアーとは

対面ではなく、オンラインで実施する体験やガイドツアー。

オンライン会議システムにより実施することが多く、質疑応答など主催者と参加者の間でリアルタイムでの意思疎通が行える。事前に食材や材料を用意して行う調理・ものづくりの講座や、観光地などの現地から中継しながら行うガイドツアーなどがある。

潜在的顧客に向けたプロモーションとなり、将来の来広が期待されるとともに、体験やガイドツアーに関わる特産品の購買促進にも繋がる。

(ア) 企画案への助言

参加希望のあった事業者から提出された企画案に対し、外部講師のアドバイスを交えながら助言を行った。

(イ) 観光客を想定した実践

事業者観光客の参加を想定した実践ができる場を提供し、外部講師やビューロー職員が参加して、その内容や進行、撮影技術などについてアドバイスを行った。

さらに内容の充実を図りたい事業者に対しては、販売方法やモニター実施について助言を行った。



オンライン体験の実践



オンラインツアーの実践

(ウ) 販売手法への助言

販売ターゲットに適したOTA（Online Travel Agency）の登録先やメニューに掲載する文言、写真などについて助言を行った。

【実績】

オンライン体験・オンラインツアーの商品化支援への参加者数	10者
うち OTA登録まで至った事業者	1者
OTA登録に向けた活動を継続中の事業者	6者

(エ) 高齢者施設向けオンラインツアーの実施など

事業者から申し出のあった高齢者施設入所者向けのオンライン配信を宮島から実施し、趣旨に賛同した上安慈光園において6名の入所者がオンラインツアーに参加した。



また、観光客受入向上セミナーの講師と参加者が共同で船越公民館で高齢者向けの「二葉の里歴史散歩道オンライン旅行」を企画、実施し、43名が参加した。



ウ インバウンド総合展への共同出展

- ・開催予定日 令和2年10月
 - ・会場 沖縄コンベンションセンター
- (新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止)

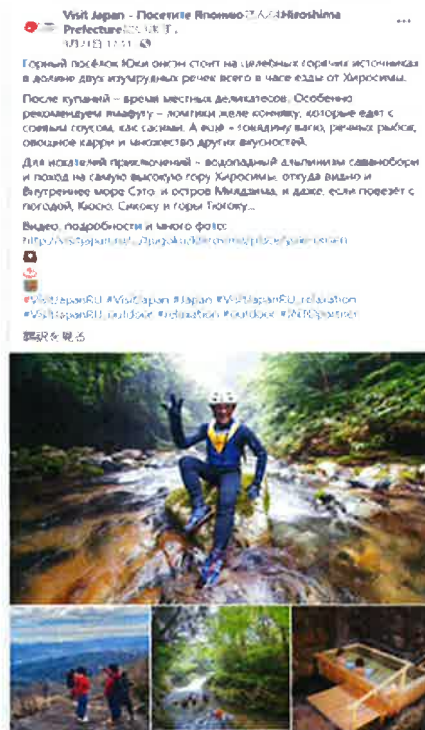
エ 情報発信の強化

(ア) JNTOを通じた海外への情報発信の強化

JNTOを通じて7件の情報発信を行い、そのうち「湯来アドベンチャー ツーリズム」の案件がJNTO香港事務所、モスクワ事務所から当地の旅行会社などに情報発信された。



香港事務所 Facebook

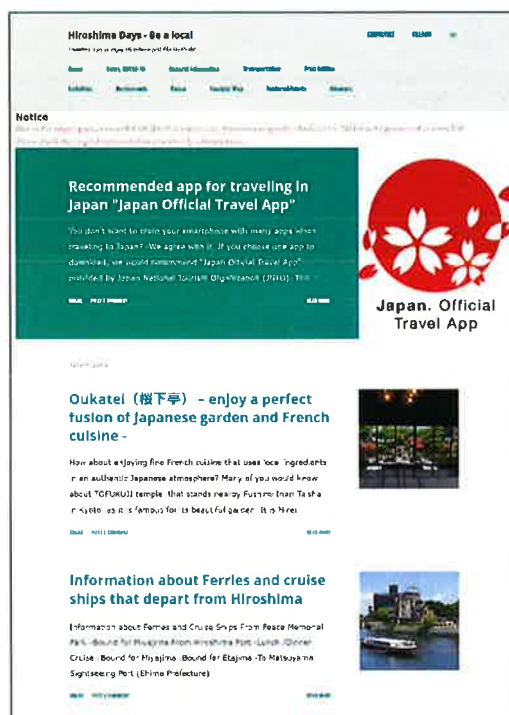


モスクワ事務所 Facebook

(イ) 外国人観光客向けフリーペーパーの発行【新規】

外国人観光客向けフリーペーパーについてはオンライン版として開設し、観光プロダクトなど広島の情報発信を行った。

- ・名 称 Hiroshima Days - Be a Local (<https://hiroshima-days.blogspot.com/>)
- ・言 語 英語
- ・記事掲載数 61件
- ・ページビュー数 8,253ページビュー



3 観光宣伝・誘致活動推進事業

(1) 観光客誘致プロモーション活動

ア 国内観光客への宣伝・誘致活動

事業名	時期	備考
ツーリズムEXPOジャパン 東京商談会への参加	令和2年9月10日(木) ～12日(土)	新型コロナウイルス感染症 拡大の影響により開催中止
宮島・広島・岩国・呉・廿日市 共催首都圏観光宣伝隊への参加	令和2年12月	新型コロナウイルス感染症 拡大の影響により開催中止

イ 外国人観光客への宣伝・誘致活動

事業名	時期	備考
VISIT JAPAN トラベルマート参加	令和2年10月14日(水) ～16日(金)	新型コロナウイルス感染症 拡大の影響により開催中止
JNTOインバウンド旅行振興 フォーラム参加	令和3年2月18日(木) ～19日(金)	オンライン開催
中国地方インバウンドフォーラム 参加	令和2年9月	新型コロナウイルス感染症 拡大の影響により開催中止

J N T Oのロサンゼルス、シドニー、パリなど20の海外事務所等を情報拠点として活用し、観光ガイドマップ等を現地の旅行会社や一般消費者へ配布し、広島のパRを行った。

【J N T O海外事務所等への観光ガイドマップ等配布実績】

J N T O海外事務所等	ようこそ！広島へ		きんさいひろしま (英語)
	言語	配布部数	配布部数
ソウル事務所	韓国語	50部	—
北京事務所	簡体字	450部	—
上海事務所	簡体字	300部	
広州事務所	簡体字	100部	—
香港事務所	繁体字	250部	—
デリー事務所	英語	100部	400部
ジャカルタ事務所	英語	50部	100部
シンガポール事務所	英語	50部	100部
バンコク事務所	タイ語	250部	—
クアラルンプール事務所		—	100部
シドニー事務所	英語	200部	100部
ニューヨーク事務所	英語	600部	100部
ロサンゼルス事務所		—	100部
ローマ事務所	イタリア語	600部	—
ロンドン事務所	英語	200部	100部
マドリード事務所	スペイン語	400部	—
フランクフルト事務所	ドイツ語	600部	—
パリ事務所	フランス語	700部	—
モスクワ事務所	ロシア語	200部	—
(公財)日本台湾交流協会台北事務所	繁体字	700部	—

※「ようこそ！広島へ」…着地型パンフレット(広島を周遊してもらうことを目的としたパンフレット)

「きんさい ひろしま」…発地型パンフレット(広島へ来てもらうことを目的としたパンフレット)

ウ SNSによる情報発信

SNSを活用し、国内外へ最新情報を始めとする様々な情報を発信することにより、広島への観光客誘致を推進した。

- ・種類 Twitter、Facebook、Instagram、YouTube
- ・総フォロワー数 12,075人

(2) 地域観光の推進

(観光情報を発信する祭り・イベント等への支援)

ア 第33回湯の山温泉桜まつり

- ・開催予定日 令和2年4月12日(日)
 - ・会場 クアハウス湯の山前特設会場ほか
 - ・実施主体 湯の山温泉まつり実行委員会
- (新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止)

イ 第30回湯来温泉ホテルまつり

- ・開催予定日 令和2年6月21日(日)～28日(日)
 - ・場所 湯来交流体験センター
 - ・実施主体 湯来温泉観光商工同業組合
- (新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により開催中止)

(3) 観光宣伝物作成

着地型パンフレット「ようこそ！広島へ観光ガイドマップ」を作成し、市内外の観光案内所、宿泊施設、商業施設などに配布することで、広島への観光客誘致を推進した。

【作成したパンフレット】

区 分	名 称	言 語	数 量
国内向け 観光 パンフレット	ようこそ！広島へ 観光ガイドマップ	日本語	145,400部

※「ようこそ！広島へ観光ガイドマップ」外国語版及び「きんさいひろしま」日本語版・英語版については、在庫があったため、作成していない。

(4) 親善交流

観光親善大使を含む訪問団を結成して広島市と相互交流のある都市を訪れ、行政、メディア・観光協会等関係機関への観光PRを実施するとともに、親善訪問団の受入を実施することにより、都市間の親善交流を図ることとしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、親善訪問団受入の「沖縄市GOナイター」の受入以外は全て中止となった。

ア 親善訪問

名 称	時 期
第33回浜田市親善訪問	令和2年8月(中止)
第40回沖縄市親善訪問	令和2年9月(中止)
第41回北広島市親善訪問	令和2年9月(中止)

イ 親善訪問団受入

名 称	時 期
沖縄市GOナイター	令和2年10月9日（金）
北広島市子ども大使	令和2年8月（中止）

(5) 観光親善大使による観光宣伝活動

広島市の代表にふさわしい意欲あふれる観光親善大使3人を選考し、観光関連事業において観光PRを行うとともに、広島観光親善大使ブログ等SNSによる情報発信を行い、広島への観光客誘致を推進した。

【実 績】 派遣件数 15件



沖縄市GOナイター



新旧大使お披露目



せとうち広島DCキャンペーン



大使ブログ



大使フェイスブック

4 観光施設管理運営等受託事業

(1) 観光案内所の運営

広島市及びその周辺地域を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、広島市観光案内所を、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により休業した期間（23日間）以外は、年中無休で運営した。

ア 設置場所及び営業時間

(ア) 平和記念公園内（6月末まで）

10:00～17:00

(イ) 紙屋町地下街（シャレオ）

11:00～17:00

イ 案内件数

場 所	案 内 件 数	うち外国人対応
平和記念公園内	6 2 5 件	9 9 件
紙屋町地下街（シャレオ）	4, 7 3 7 件	1 4 1 件
合 計	5, 3 6 2 件	2 4 0 件

※上記の両観光案内所は、J N T O（日本政府観光局）から、広域案内かつ常時英語対応可を要件とする「外国人観光案内所」 カテゴリー 2 として認定されている。

(2) 来広観光客等動向調査

来広観光客の質的構成や動態をアンケート等により調査するとともに、広島市の観光情報に係る観光概況データを収集した。

ア 来広観光客アンケート調査

11月18日（水）、21日（土）に広島市を訪れた観光客を対象にアンケート調査を行った。（回収数 96人）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、例年4回の実施回数を2回とした。）

イ 入込観光客調査

宿泊、観光施設及び交通機関等を対象に入込観光客調査を行った。（回収数323件）

(3) ひろしまライトアップ事業の運営その他

「広島祭委員会」、「ひろしまライトアップ事業実行委員会」の事務局分室を設置し、下記の事業を開催することにより、広島への観光客誘致を推進した。

名 称	主 催	時 期 等	備 考
2020ひろしま フラワーフェス ティバル	ひろしまフラワーフェス ティバル実行委員会	新型コロナウイルス感染症の感 染拡大の影響により開催中止	
大文字まつり	広島祭委員会・大文字保 存会・中国新聞社	新型コロナウイルス感染症の感 染拡大の影響により開催中止	
七夕まつり	広島祭委員会・広島市商 店街連合会・中国新聞社	令和2年7月1日(水) ～10日(金)	6商店街で実施
広島湾ナイト クルージング	広島湾ナイトクルージン グ実行委員会	令和2年7月18日(土) ～10月31日(土)	(再掲)
2020広島 みなと 夢 花火大会	広島祭委員会、広島港ま つり委員会、広島観光コ ンベンションビューロ ー、中国新聞社	オリンピックの開催予定日と重 なり、警備等観覧者の安全確保 の観点等から開催中止	
ピースメッセージ とうろう流し	広島祭委員会・広島市商 店街連合会・中国新聞社	令和2年8月6日(木) 新型コロナウイルス感染症の感 染拡大の影響により縮小開催	一般流灯中止 セレモニー及び 関係者のみ流灯

名 称	主 催	時 期 等	備 考
広島城大菊花展	広島祭委員会・広島菊友会・広島市・中国新聞社	令和2年10月24日(土)～ 11月8日(日) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により縮小開催	来場者数： 約5万人 箏曲コンサート の中止
ひろしまドリミネーション2020	ひろしまライトアップ事業実行委員会	令和2年11月21日(土)～ 12月11日(金) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により縮小開催	来場者数： 約16万人 開催期間短縮 オープニングイベント、オープンカフェの中止



七夕祭り



ピースメッセージとうろう流し



広島城大菊花展



ひろしまドリミネーション

(4) ホームページの運営

ア 広島広域観光情報サイト「ひろたび」等の運営

広島への観光客誘致を推進するため、広島広域観光情報サイト「ひろたび」(<https://www.hiroshima-navi.or.jp/>) 及び「Explore Hiroshima」を運営するとともに、SNS（日本語、英語）を活用した国内外への最新情報の発信により、広島への観光客誘致を推進した。

イ 「旅の提案」ができる機能の導入【新規】

広島広域観光情報サイト「ひろたび」に、以下の機能を導入した。

- ・周遊コースを自分好みにカスタマイズする機能

行きたい場所をピックアップするだけで、自動で最適な順番に並び替え、交通機関の案内をするなど、誰でも簡単に自分好みの周遊プランが作れる機能。

- ・ A I により周遊コースを自動で作成する機能

2時間コース、半日観光コース、1日観光コース、歴史を中心に自然も満喫したい、など所要時間やその時の気分にあった最適のコースを自動作成してくれる機能。

【広島広域観光情報サイト「ひろたび」及び「Explore Hiroshima」の運用実績】

- ・ 種 類 日本語版、英語版、中国語版（簡体字版・繁体字版）ハングル版、フランス語版、ドイツ語版、タイ語版
全言語スマートフォン対応
- ・ 訪問者数 220万人
- ・ ページビュー数 403万ページビュー

【SNSの活用状況】（再掲）

- ・ 種 類 Twitter、Facebook、Instagram、YouTube
- ・ 総フォロワー数 12,075人

(5) フィルム・コミッション事業の運営

広島での映画、テレビドラマ等のロケ撮影の誘致・支援を行い、広島発の映像情報の発信などにより、広島のイメージアップを図るとともに、広島への観光客誘致を推進した。

ア ロケ撮影の誘致

映画監督、プロデューサー等の映像制作者が一堂に集う国内外のトレードショーや映画祭を面談の機会ととらえ、映像制作者のアポイントを取って個別にロケ撮影誘致活動を行った。

区分	事業名	時期	場所
映像関連イベント	マルシェ・ドウ・フィルム・オンライン 【カンヌ国際映画祭関連】（オンライン参加）	令和2年6月22日(月) ～26日(金)	カンヌ (フランス)
	香港フィルマート2020（オンライン参加）	令和2年8月26日(水) ～29日(土)	香港
	アジア・コンテンツ・アンド・フィルム・マーケット 【釜山国際映画祭関連】（オンライン参加）	令和2年10月26日(月) ～28日(水)	釜山
	ジャパン・コンテンツ・ショーケース 【東京国際映画祭関連】（オンライン参加）	令和2年11月4日(水) ～6日(金)	東京
	広島国際映画祭の参加映像制作者への誘致活動	令和2年11月21日(土) ～23日(月)	広島
	ジャパン・フィルムコミッション(JFC) 全国ロケ地フェア（オンライン参加）	令和3年2月26日(金)	東京
	香港フィルマート2021（オンライン参加）	令和3年3月15日(月) ～18日(木)	香港
映像制作者訪問等による誘致活動		随 時	東京ほか

【実績】誘致件数 7件(内訳：映画4件、ドキュメンタリー映画1件、テレビ番組1件、その他1件)



広島国際映画祭の参加映像制作者

イ ロケ素材映像発信【新規】

コロナ禍で海外の映像製作者が広島でロケ撮影できない状況にあることから、広島の代表的な映像を広島フィルム・コミッションのホームページで発信し、無料でダウンロードできるようにした。



Peace Memorial Park

TimeRiver Pictures



Peace Memorial Museum

TimeRiver Pictures

ウ ロケ撮影の支援

ロケ地情報の提供、施設の使用調整・許可申請手続、ボランティア・エキストラの募集、ロケハン同行・ロケ撮影立会等を行い、ロケ撮影を支援した。

区 分	支 援 件 数
映画	7件
テレビ	81件
WEB	20件
その他（プロモーションビデオ、雑誌 等）	43件
計	151件

※主な支援作品

- ・映画「孤狼の血 LEVEL2」（白石和彌監督）
- ・映画「ドライブ・マイ・カー」（濱口竜介監督）
- ・映画「吟ずる者たち」（油谷誠至監督）
- ・映画「シアターズ 俺と映画と、ある女」（鈴木太一監督）

ほか



映画「孤狼の血 LEVEL2」のロケ撮影風景



映画「吟ずる者たち」のロケ撮影風景

エ ロケ撮影環境の整備

市民に対しロケ撮影に関する講演会やパネル展の開催及びメールマガジンによる情報発信等のプロモーション活動を行い、フィルム・コミッション事業に対する理解・協力を促すとともに、関係支援団体とも連携を図って、ロケ撮影のしやすい環境づくりを行った。

(ア) 広島フィルム・コミッションPRパネル展の開催

- ・映 画「おかあさんの被爆ピアノ」ロケ撮影風景パネル展
会 場：中区役所、船越公民館ほか
- ・映 画「朝が来る」ロケ撮影風景パネル展
会 場：似島公民館、宇品公民館ほか

(イ) 広島国際映画祭でのPR

- a 広島に関連する5作品の上映及びゲストトークショーを開催
- b 広島フィルム・コミッションPRパネル等の展示



ゲストトークショー



広島フィルム・コミッションPRパネル展

オ 映像コンテンツ販売の支援

広島を題材に撮影された映像コンテンツの販売促進を支援した。

事 業 名	時 期	場 所
香港フィルムアート 2020 (オンライン参加)	令和2年8月26日(水) ～29日(土)	香 港
アジアン・コンテンツ・アンド・フィルム・マーケット 【釜山国際映画祭関連】(オンライン参加)	令和2年10月26日(月) ～28日(水)	釜 山

事業名	時期	場所
ジャパン・コンテンツ・ショーケース 【東京国際映画祭関連】(オンライン参加)	令和2年11月4日(水) ～6日(金)	東京
香港フィルムアート2021 (オンライン参加)	令和3年3月15日(月) ～18日(木)	香港

カ フィルム・コミッション間の連携

国際フィルムコミッションズ協会(AFCI)、アジア・フィルムコミッション・ネットワーク(AFCNet)、ジャパン・フィルムコミッション(JFC)、フィルム・コミッション中国ブロック会議に参加することなどにより、意見交換、情報収集に努め、フィルム・コミッション間の連携を強化した。

(6) 観光宣伝物作成

着地型パンフレット「ようこそ！広島へ観光ガイドマップ」を作成し、広島市が設置する街角観光案内所「トラベルパル」及び「トラベルパル・インターナショナル」などで配布した。

パンフレットの名称	言語	数量
ようこそ！広島へ観光ガイドマップ	日本語	54,600部

※「ようこそ！広島へ観光ガイドマップ」外国語版については、在庫があったため、作成していない。

【その他】

I その他事業

1 賛助会員向け事業

(1) 会報の発行

コンベンションの開催情報や当ビューローの活動状況等を掲載した会報「Monthly News」を発行し、賛助会員等へ情報提供を行った。(毎月500部)

(2) 優良従業員表彰の実施

賛助会員の企業・団体に勤務する優秀な従業員を表彰し、観光事業及びコンベンション振興事業の健全な発展及び観光客への接遇向上を図った。

優良従業員表彰式

- ・開催日 令和3年2月8日(月)
- ・会場 広島商工会議所
- ・受賞者数 28人(10社)



2 職員の研修事業

J N T O等が主催する実務担当職員を対象とした研修会等に職員を参加させ、M I C E誘致や開催ノウハウを習得させた。

- ・第2回I C C Aアジア・パシフィック部会サミット2020（オンライン参加）

開催期間 令和2年12月15日（火）～16日（水）

参加人数 2人

- ・J N T O オンラインM I C Eセミナー～中級編～

開催期間 令和3年3月1日（月）～2日（火）

参加人数 2人

- ・J N T O オンラインM I C Eセミナー～ADVANCED～

開催期間 令和3年3月3日（水）～5日（金）

参加人数 1人

3 観光資源の維持管理

観光ライトアップ設備(15 か所)、観光サイン(635 基)及び「灯和の径」(57 灯)等の維持管理を行った。

(参 考)

無償使用貸借資産

事業を実施するに当たって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

土地及び建物

名 称	所 在 地	区分	現 在 高
広島国際会議場	中区中島町1番5号	土地 建物	駐車場 25.00㎡
			事務室等 161.30㎡

第2表 決算報告書

決 算 報 告 書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

貸 借 対 照 表
令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
(1) 現金預金	54,346,978	53,837,543	509,435
(2) 未収金	0	405,000	△ 405,000
(3) 前払金	30,000	30,000	0
(4) 貯蔵品	224,595	0	224,595
(5) 短期貸付金	0	1,000,000	△ 1,000,000
流動資産合計	54,601,573	55,272,543	△ 670,970
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	972,044,760	977,050,760	△ 5,006,000
定期預金	5,755,240	749,240	5,006,000
基本財産合計	977,800,000	977,800,000	0
(2) その他固定資産			
車両運搬具	2	2	0
什器備品	5	5	0
電話加入権	446,920	446,920	0
敷金	1,818,000	1,818,000	0
長期貸付金	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000
その他固定資産合計	3,264,927	5,264,927	△ 2,000,000
固定資産合計	981,064,927	983,064,927	△ 2,000,000
資産合計	1,035,666,500	1,038,337,470	△ 2,670,970
II 負債の部			
1 流動負債			
(1) 未払金	36,968,555	46,204,617	△ 9,236,062
(2) 未払消費税等	1,407,100	653,200	753,900
(3) 前受金	0	132,000	△ 132,000
(4) 預り金	2,528,114	2,594,310	△ 66,196
(5) 賞与引当金	9,421,470	9,363,837	57,633
(6) 短期借入金	0	1,000,000	△ 1,000,000
流動負債合計	50,325,239	59,947,964	△ 9,622,725
2 固定負債			
(1) 長期借入金	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000
(2) 退職給付引当金	81,657,879	72,455,201	9,202,678
固定負債合計	82,657,879	75,455,201	7,202,678
負債合計	132,983,118	135,403,165	△ 2,420,047
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
(1) 寄付金（広島市）	977,800,000	977,800,000	0
指定正味財産合計	977,800,000	977,800,000	0
（うち基本財産への充当額）	(977,800,000)	(977,800,000)	0
2 一般正味財産	△ 75,116,618	△ 74,865,695	△ 250,923
正味財産合計	902,683,382	902,934,305	△ 250,923
負債及び正味財産合計	1,035,666,500	1,038,337,470	△ 2,670,970

貸 借 対 照 表 内 訳 表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会 計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
(1) 現金預金	39,981,875	21,340,939	△ 6,975,836		54,346,978
(2) 前払金	25,700		4,300		30,000
(3) 貯蔵品	189,271		35,324		224,595
流動資産合計	40,196,846	21,340,939	△ 6,936,212	0	54,601,573
2 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	862,203,703	56,378,595	53,462,462		972,044,760
定期預金	5,104,897	333,805	316,538		5,755,240
基本財産合計	867,308,600	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
(2) その他固定資産					
車両運搬具	2				2
什器備品	5				5
電話加入権	393,290	22,346	31,284		446,920
敷金			1,818,000		1,818,000
長期貸付金	1,000,000				1,000,000
その他固定資産合計	1,393,297	22,346	1,849,284	0	3,264,927
固定資産合計	868,701,897	56,734,746	55,628,284	0	981,064,927
資産合計	908,898,743	78,075,685	48,692,072	0	1,035,666,500
II 負債の部					
1 流動負債					
(1) 未払金	31,950,730	358,904	4,658,921		36,968,555
(2) 未払消費税等	1,270,100	137,000			1,407,100
(3) 前受金					0
(4) 預り金	2,252,498	36,022	239,594		2,528,114
(5) 賞与引当金	8,206,663	212,007	1,002,800		9,421,470
流動負債合計	43,679,991	743,933	5,901,315	0	50,325,239
2 固定負債					
(1) 長期借入金	1,000,000				1,000,000
(2) 退職給付引当金			81,657,879		81,657,879
固定負債合計	1,000,000	0	81,657,879	0	82,657,879
負債合計	44,679,991	743,933	87,559,194	0	132,983,118
III 正味財産の部					
1 指定正味財産					
(1) 寄付金（広島市）	867,308,600	56,712,400	53,779,000		977,800,000
指定正味財産合計	867,308,600	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
（うち基本財産への充当額）	(867,308,600)	(56,712,400)	(53,779,000)		(977,800,000)
2 一般正味財産	△ 3,089,848	20,619,352	△ 92,646,122		△ 75,116,618
正味財産合計	864,218,752	77,331,752	△ 38,867,122	0	902,683,382
負債及び正味財産合計	908,898,743	78,075,685	48,692,072	0	1,035,666,500

正 味 財 産 増 減 計 算 書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	17,021,419	16,317,333	704,086	
② 受取会費				
賛助会費受取会費	11,752,500	12,300,000	△ 547,500	
③ 事業収益	79,312,917	96,394,747	△ 17,081,830	
広告事業収益	1,389,000	2,260,320	△ 871,320	
観光親善大使派遣事業収益	49,000	544,000	△ 495,000	
広島市受託収益	77,874,917	93,590,427	△ 15,715,510	
④ 受取負担金				
受取負担金	360,000	3,192,800	△ 2,832,800	
⑤ 受取補助金等				
受取広島市補助金	187,908,859	221,027,329	△ 33,118,470	
⑥ 雑収益	236,680	96,593	140,087	
受取利息	424	422	2	
雑収益	236,256	96,171	140,085	
経常収益計	296,592,375	349,328,802	△ 52,736,427	
(2) 経常費用				
① 事業費	244,604,838	300,091,290	△ 55,486,452	
役員報酬	8,090,640	8,125,357	△ 34,717	
給料手当等	140,258,292	145,018,124	△ 4,759,832	
賞与引当金繰入額	8,418,670	8,355,767	62,903	
退職給付費用	308,400	308,400	0	
福利厚生費	27,018,012	29,572,678	△ 2,554,666	
賃金	5,078,146	11,500,229	△ 6,422,083	
報償費	777,924	1,313,059	△ 535,135	
普通旅費	1,074,793	6,309,111	△ 5,234,318	
消耗品費等	2,735,518	5,961,921	△ 3,226,403	
燃料費	109,134	262,451	△ 153,317	
食糧費	157,085	1,319,454	△ 1,162,369	
光熱水費	956,972	1,021,729	△ 64,757	
修繕料	568,090	575,240	△ 7,150	
通信運搬費	1,071,017	2,556,430	△ 1,485,413	
手数料等	674,251	692,102	△ 17,851	
保険料	309,570	293,520	16,050	
委託料	23,712,756	32,425,952	△ 8,713,196	
使用料及び賃借料	5,149,838	8,825,207	△ 3,675,369	
備品購入費	611,500	0	611,500	
負担金、補助及び交付金	13,521,430	30,581,959	△ 17,060,529	
公課費	4,002,800	5,072,600	△ 1,069,800	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
② 管理費	51,953,460	53,199,644	△ 1,246,184	
役員報酬	7,032,052	7,062,227	△ 30,175	
給料手当等	11,187,586	11,682,888	△ 495,302	
賞与引当金繰入額	1,002,800	1,008,070	△ 5,270	
退職給付費用	9,254,278	8,989,554	264,724	
福利厚生費	3,937,557	4,187,628	△ 250,071	
賃金	1,579,534	1,782,185	△ 202,651	
報償費	96,000	96,000	0	
普通旅費	0	126,380	△ 126,380	
交際費	0	27,500	△ 27,500	
消耗品費等	481,368	787,594	△ 306,226	
食糧費	19,214	33,128	△ 13,914	
光熱水費	829,007	811,440	17,567	
通信運搬費	747,604	1,126,272	△ 378,668	
手数料等	147,900	165,570	△ 17,670	
委託料	1,093,063	1,093,597	△ 534	
使用料及び賃借料	10,805,290	10,517,427	287,863	
備品購入費	44,000	0	44,000	
負担金、補助及び交付金	3,630,407	3,621,184	9,223	
公課費	65,800	81,000	△ 15,200	
経常費用計	296,558,298	353,290,934	△ 56,732,636	
評価損益等調整前当期経常増減額	34,077	△ 3,962,132	3,996,209	
当期経常増減額	34,077	△ 3,962,132	3,996,209	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益			0	
(2) 経常外費用				
貸倒損失	285,000	0	285,000	
経常外費用計	285,000	0	285,000	
当期経常外増減額	△ 285,000	0	△ 285,000	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 250,923	△ 3,962,132	3,711,209	
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 250,923	△ 3,962,132	3,711,209	
一般正味財産期首残高	△ 74,865,695	△ 70,903,563	△ 3,962,132	
一般正味財産期末残高	△ 75,116,618	△ 74,865,695	△ 250,923	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	977,800,000	977,800,000	0	
指定正味財産期末残高	977,800,000	977,800,000	0	
III 正味財産期末残高	902,683,382	902,934,305	△ 250,923	

正 味 財 産 増 減 計 算 書 内 訳 表
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科 目		公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
		MICE振興事業	観光振興事業	小計	プレイス売店運営事業	その他事業	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1 経常増減の部										
(1) 経常収益										
① 基本財産運用利益										
基本財産受取利息	10,716,538	4,381,460	15,097,998		987,243	987,243	936,178			17,021,419
② 受取会費										
賛助会費受取会費		5,876,500	5,876,500		513,475	513,475	5,362,525			11,752,500
③ 事業収益	1,029,000	71,051,276	72,080,276		7,232,641	7,232,641				79,312,917
広告事業収益	1,029,000	360,000	1,389,000							1,389,000
観光親善大使派遣事業収益		49,000	49,000							49,000
広島市受託収益		70,642,276	70,642,276		7,232,641	7,232,641				77,874,917
④ 受取負担金										
受取負担金		360,000	360,000							360,000
⑤ 受取補助金等										
受取広島市補助金	73,680,000	72,674,041	146,354,041				41,554,818			187,908,859
⑥ 雑収益	6,256	200,010	206,266		414	414	30,000			236,680
受取利息		10	10		414	414				424
雑収益	6,256	200,000	206,256				30,000			236,256
経常収益計	85,431,794	154,543,287	239,975,081	0	8,733,773	8,733,773	47,883,521	0		296,592,375
(2) 経常費用										
① 事業費										
役員報酬	83,995,573	152,856,488	236,852,061		7,752,777	7,752,777				244,604,838
給料手当等	3,553,833	4,536,807	8,090,640							8,090,640
賞与引当金繰入額	47,260,367	89,467,592	136,727,959		3,530,333	3,530,333				140,258,292
退職給付費用	2,928,651	5,278,012	8,206,663		212,007	212,007				8,418,670
福利厚生費	96,000	212,400	308,400							308,400
賃金	9,493,246	16,959,961	26,453,207		564,805	564,805				27,018,012
報償費	1,161,600	3,916,546	5,078,146							5,078,146
普通旅費	119,200	658,724	777,924							777,924
消耗品費等	808,530	266,263	1,074,793							1,074,793
燃料費	1,253,359	1,325,128	2,578,487		157,031	157,031				2,735,518
食糧費	61,347	47,787	109,134							109,134
光熱水費	87,277	69,808	157,085							157,085
修繕料	141,850	70,940	212,790		956,972	956,972				956,972
通信運搬費	491,987	436,398	928,385		355,300	355,300				568,090
手数料等	48,000	626,251	674,251		142,632	142,632				1,071,017
保険料	112,660	196,910	309,570							674,251
委託料	4,692,600	17,603,599	22,296,199		1,416,557	1,416,557				309,570
使用料及び賃借料	2,377,988	2,738,410	5,116,398		33,440	33,440				23,712,756
備品購入費	393,470	218,030	611,500							5,149,838
負担金、補助及び交付金	8,855,308	4,576,122	13,431,430		90,000	90,000				611,500
公課費	58,300	3,650,800	3,709,100		293,700	293,700				13,521,430
										4,002,800

科	目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
		MICE振興事業	観光振興事業	小計	レストラン売店運営事業	その他事業	小計			
②	管理費	0	0	0	0	0	0	51,953,460		51,953,460
	役員報酬							7,032,052		7,032,052
	給料手当等							11,187,586		11,187,586
	賞与引当金繰入額							1,002,800		1,002,800
	退職給付費用							9,254,278		9,254,278
	福利厚生費							3,937,557		3,937,557
	賃金							1,579,534		1,579,534
	報償費							96,000		96,000
	消耗品費等							481,368		481,368
	食糧費							19,214		19,214
2	光熱水費							829,007		829,007
	通信運搬費							747,604		747,604
	手数料等							147,900		147,900
	委託料							1,093,063		1,093,063
	使用料及び賃借料							10,805,290		10,805,290
	備品購入費							44,000		44,000
	負担金、補助及び交付金							3,630,407		3,630,407
	公課費							65,800		65,800
	経常費用計	83,995,573	152,856,488	236,852,061	0	7,752,777	7,752,777	51,953,460	0	296,558,298
	評価損益等調整前当期経常増減額	1,436,221	1,686,799	3,123,020	0	980,996	980,996	△ 4,069,939	0	34,077
(1)	当期経常増減額	1,436,221	1,686,799	3,123,020	0	980,996	980,996	△ 4,069,939	0	34,077
	経常外増減の部									
	(1) 経常外収益							0	0	0
	(2) 経常外費用							0	0	0
	貸倒損失	50,000	235,000	285,000				0	0	285,000
	経常外費用計	50,000	235,000	285,000				0	0	285,000
	当期経常外増減額	△ 50,000	△ 235,000	△ 285,000				0	0	△ 285,000
	他会計振替額							0	0	0
	税引前当期一般正味財産増減額	1,386,221	1,451,799	2,838,020	0	980,996	980,996	△ 4,069,939	0	△ 250,923
	法人税、住民税及び事業税			0				0	0	0
II	当期一般正味財産増減額	1,386,221	1,451,799	2,838,020	0	980,996	980,996	△ 4,069,939	0	△ 250,923
	一般正味財産期首残高	6,840,995	△ 12,768,863	△ 5,927,868	20,676,527	△ 1,038,171	19,638,356	△ 88,576,183		△ 74,865,695
	一般正味財産期末残高	8,227,216	△ 11,317,064	△ 3,089,848	20,676,527	△ 57,175	20,619,352	△ 92,646,122	0	△ 75,116,618
	指定正味財産増減の部									
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指定正味財産期首残高	867,308,600	0	867,308,600	0	56,712,400	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
	指定正味財産期末残高	867,308,600	0	867,308,600	0	56,712,400	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
	正味財産期末残高	875,535,816	△ 11,317,064	864,218,752	20,676,527	56,655,225	77,331,752	△ 38,867,122	0	902,683,382
III										

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券は取得価額による原価法を採用している（償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。）。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価の切り下げの方法により算定）によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具及び什器備品……定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員の賞与の支給に備えるため、支給対象期間に対応する支給見込額を計上している。

退職給付引当金……職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	977,050,760	0	5,006,000	972,044,760
定期預金	742,240	5,006,000	0	5,755,240
合 計	977,800,000	5,006,000	5,006,000	977,800,000

3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	972,044,760	(972,044,760)	(ー)	(ー)
定期預金	5,755,240	(5,755,240)	(ー)	(ー)
合 計	977,800,000	(977,800,000)	(ー)	(ー)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	2,088,500	2,088,498	2
什器備品	851,581	851,576	5
合 計	2,940,081	2,940,074	7

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第 5 1 回利付国債	45,433,280	42,927,200	△ 2,506,080
第 1 0 9 回利付国債	295,413,000	345,000,000	49,587,000
第 1 2 1 回利付国債	296,391,000	351,510,000	55,119,000
第 1 5 9 回利付国債	80,601,480	84,264,300	3,662,820
第 1 6 4 回利付国債	59,676,000	61,146,000	1,470,000
第 1 7 4 回利付国債	194,530,000	197,320,000	2,790,000
合 計	972,044,760	1,082,167,500	110,122,740

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
コンベンション振興事業補助金	広島市	0	60,082,049	60,082,049	0	—
観光事業補助金	広島市	0	58,820,671	58,820,671	0	—
管理運営補助金	広島市	0	69,006,139	69,006,139	0	—
合 計		0	187,908,859	187,908,859	0	

附 属 明 細 書

1 基本財産の明細

財務諸表に対する注記の「2 基本財産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。

2 引当金の明細

引当金の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	72,455,201	9,202,678	0	0	81,657,879
賞与引当金	9,363,837	9,421,470	9,363,837	0	9,421,470

財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
(流動資産)	現金・預金	普通預金 広島銀行大手町支店	運転資金として	37,722,995
		広島信用金庫八丁堀支店	〃	5,061,683
		もみじ銀行広島中央支店	〃	7,999,853
		広島市信用組合本店営業部	〃	562,447
		定期預金 広島信用金庫八丁堀支店	〃	3,000,000
	前払金	退職共済積立金	職員の退職共済積立金	30,000
	貯蔵品	郵便切手・収入印紙等	事業・運営に使用する資産	224,595
流動資産合計				54,601,573
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	第51回利付国債	満期保有目的の共用財産であり、運用益の88.7%を公益目的事業に、5.5%を管理運営に、5.8%をその他事業に供している。	45,433,280
		第109回利付国債	〃	295,413,000
		第121回利付国債	〃	296,391,000
		第159回利付国債	〃	80,601,480
		第164回利付国債	〃	59,676,000
		第174回利付国債	〃	194,530,000
	定期預金	広島市信用組合本店営業部	共用財産であり、運用益の88.7%を公益目的事業に、5.5%を管理運営に、5.8%をその他事業に供している。	5,755,240
	車両運搬具	車両2台	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。	2
		パソコン2台、歓迎用看板土台1基、スーツケース2個	〃	5
	電話加入権	電話8回線	共用財産であり、88%を公益目的保有財産として公益目的事業に、7%を管理運営に、5%を収益等事業に供している。	446,920
その他固定資産	敷金	広島商工会議所	広島商工会議所ビル内事務室の賃借契約に基づく敷金	1,818,000
	長期貸付金	第11回分子インプリンティングに関する国際会議	コンベンション開催準備資金の貸付	1,000,000
固定資産合計				981,064,927
資産合計				1,035,666,500
(流動負債)				
(流動負債)	未払金	厚生労働省年金局（広島東）ほか	令和2年度社会保険料等の未払分	36,968,555
	未払消費税等	広島西税務署	令和2年度消費税等の未払分	1,407,100
	預り金	役員、職員等	源泉徴収所得税等の預り金	2,528,114
	賞与引当金	役員、職員	役員、職員に対する賞与支払いに備えたもの	9,421,470
流動負債合計				50,325,239
(固定負債)				
(固定負債)	長期借入金	広島市からの借入金	コンベンション開催準備資金	1,000,000
	退職給付引当金	職員	職員19名に対する退職金の支払いに備えたもの	81,657,879
固定負債合計				82,657,879
負債合計				132,983,118
正味財産合計				902,683,382

収 支 計 算 書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				
① 基本財産利息収入	16,124,000	17,021,419	△ 897,419	
(2) 会費収入				
① 賛助会費収入	11,675,000	11,752,500	△ 77,500	
(3) 事業収入	7,212,000	1,749,000	5,463,000	
① 広告収入	4,032,000	1,389,000	2,643,000	ホームページ広告収入等の減
② 負担金収入	3,180,000	360,000	2,820,000	広島トラベルマート出展料収入等の減
(4) 補助金収入				
① 広島市補助金収入	245,370,000	187,908,859	57,461,141	コンベンション誘致助成金等の減
(5) 受託事業収入				
① 広島市受託事業収入	94,781,000	77,874,917	16,906,083	観光宣伝物作成等の減
(6) 雑収入				
① 雑収入	617,000	285,680	331,320	広島観光親善大使派遣料収入等の減
(7) 貸付金返還収入				
① コンベンション開催準備資金貸付金返還収入	8,000,000	3,000,000	5,000,000	コンベンション主催者からの返還金の減
事業活動収入計	383,779,000	299,592,375	84,186,625	
2 事業活動支出				
(1) MICE振興事業費支出	134,040,000	83,843,925	50,196,075	
① 情報収集事業費支出	1,711,000	1,681,985	29,015	
② コンベンションの誘致・支援事業費支出	56,176,465	8,736,712	47,439,753	負担金、補助及び交付金等の執行残
③ 広報・宣伝事業費支出	4,727,000	3,660,852	1,066,148	負担金、補助及び交付金等の執行残
④ 調査・企画事業費支出	1,339,810	1,245,326	94,484	
⑤ 事務費支出	1,000,000	880,778	119,222	燃料費等の執行残
⑥ 人件費支出	69,085,725	67,638,272	1,447,453	給料手当等の執行残
(2) 観光振興事業費支出	97,691,000	82,306,734	15,384,266	
① 観光客の受入態勢整備事業費支出	4,201,000	1,293,777	2,907,223	使用料及び賃借料等の執行残
② 観光資源整備・開発事業費支出	2,751,000	1,093,158	1,657,842	消耗品費等々の執行残
③ 観光宣伝・誘致活動推進事業費支出	11,926,000	4,551,571	7,374,429	委託料等の執行残
④ 事務費支出	1,446,000	984,359	461,641	通信運搬費等の執行残
⑤ 人件費支出	77,367,000	74,383,869	2,983,131	給料手当等の執行残
(3) 受託事業費支出				
① 観光施設管理運営等受託事業費支出	94,781,000	77,874,917	16,906,083	人件費等の執行残
(4) 貸付金支出				
① コンベンション開催準備資金貸付金支出	8,000,000	0	8,000,000	貸付件数減による執行残

科 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)	備 考
(5) その他事業費支出	2,511,000	516,359	1,994,641	
① 賛 助 会 員 向 け 事 業 費 支 出	1,448,000	426,359	1,021,641	食糧費等の執行残
② 職 員 の 研 修 事 業 費 支 出	1,063,000	90,000	973,000	普通旅費の執行残
(6) 管理費支出	45,756,000	42,756,052	2,999,948	
① 会 議 費 支 出	685,000	293,830	391,170	使用料及び賃借料等の執行残
② 事 務 費 支 出	19,965,000	19,245,357	719,643	
③ 人 件 費 支 出	25,106,000	23,216,865	1,889,135	給料手当等の執行残
(7) 貸倒損失	0	285,000	△ 285,000	
① 貸 倒 損 失	0	285,000	△ 285,000	未収金の損失処理
事業活動支出計	382,779,000	287,582,987	95,196,013	
事業活動収支差額	1,000,000	12,009,388	△ 11,009,388	
II 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
(1) 借入金収入	8,000,000	0	8,000,000	
① コンベンション開催準備資金借入金収入	8,000,000	0	8,000,000	広島市からの借入金収入の皆減
財務活動収入計	8,000,000	0	8,000,000	
2 財務活動支出				
(1) 借入金返済支出	8,000,000	3,000,000	5,000,000	
① コンベンション開催準備資金借入金返済支出	8,000,000	3,000,000	5,000,000	広島市への借入金返済支出の減
財務活動支出計	8,000,000	3,000,000	5,000,000	
財務活動収支差額	0	△ 3,000,000	3,000,000	
III 予備費支出	1,000,000	0	1,000,000	
当期収支差額	0	9,009,388	△ 9,009,388	
前期繰越収支差額	3,480,000	4,688,416	△ 1,208,416	
次期繰越収支差額	3,480,000	13,697,804	△ 10,217,804	

収 支 計 算 書 内 訳 表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
基本財産運用収入					
基 本 財 産 利 息 収 入	15,097,998	987,243	936,178		17,021,419
会費収入					
賛 助 会 費 収 入	5,876,500	513,475	5,362,525		11,752,500
事業収入	1,749,000				1,749,000
広 告 収 入	1,389,000				1,389,000
負 担 金 収 入	360,000				360,000
補助金収入					
広 島 市 補 助 金 収 入	146,354,041		41,554,818		187,908,859
受託事業収入					
広 島 市 受 託 事 業 収 入	70,642,276	7,232,641			77,874,917
雑収入					
雑 収 入	255,266	414	30,000		285,680
貸付金返還収入					
コンベンション開催準備 資金貸付金返還収入	3,000,000				3,000,000
事業活動収入計	242,975,081	8,733,773	47,883,521	0	299,592,375

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
2 事業活動支出					
MICE興事業費支出	83,843,925				83,843,925
情報収集事業費支出	1,681,985				1,681,985
コンベンションの誘致・支援事業費支出	8,736,712				8,736,712
広報・宣伝事業費支出	3,660,852				3,660,852
調査・企画事業費支出	1,245,326				1,245,326
事務費支出	880,778				880,778
人件費支出	67,638,272				67,638,272
観光振興事業費支出	82,306,734				82,306,734
観光客の受入態勢整備事業費支出	1,293,777				1,293,777
観光資源整備・開発事業費支出	1,093,158				1,093,158
観光宣伝・誘致活動推進事業費支出	4,551,571				4,551,571
事務費支出	984,359				984,359
人件費支出	74,383,869				74,383,869
受託事業費支出					
観光施設管理運営等受託事業費支出	70,642,276	7,232,641			77,874,917
貸付金支出					
コンベンション開催準備資金貸付金支出	0				0
その他事業費支出		516,359			516,359
賛助会員向け事業費支出		426,359			426,359
職員の研修事業費支出		90,000			90,000
管理費支出			42,756,052		42,756,052
会議費支出			293,830		293,830
事務費支出			19,245,357		19,245,357
人件費支出			23,216,865		23,216,865
貸倒損失	285,000				285,000
貸倒損失	285,000				285,000
事業活動支出計	237,077,935	7,749,000	42,756,052	0	287,582,987
事業活動収支差額	5,897,146	984,773	5,127,469	0	12,009,388

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
II 財務活動収支の部					
1 財務活動収入					
借入金収入	0				0
コンベンション開催準備 資金借入金収入	0				0
財務活動収入計	0	0	0	0	0
2 財務活動支出					
借入金返済支出	3,000,000				3,000,000
コンベンション開催準備 資金借入金返済支出	3,000,000				3,000,000
財務活動支出計	3,000,000	0	0	0	3,000,000
財務活動収支差額	△ 3,000,000	0	0	0	△ 3,000,000
III 予備費支出					0
当期収支差額	2,897,146	984,773	5,127,469	0	9,009,388
前期繰越収支差額	1,674,714	19,824,240	△ 16,810,538	0	4,688,416
次期繰越収支差額	4,571,860	20,809,013	△ 11,683,069	0	13,697,804

収 支 計 算 書 に 対 す る 注 記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、貯蔵品、未払金、未払消費税等、前受金及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目		前期末残高	当期末残高
資 産	現金預金	53,837,543	54,346,978
	未収金	405,000	0
	前払金	30,000	30,000
	貯蔵品	0	224,595
	合 計	54,272,543	54,601,573
負 債	未払金	46,204,617	36,968,555
	未払消費税等	653,200	1,407,100
	前受金	132,000	0
	預り金	2,594,310	2,528,114
	合 計	49,584,127	40,903,769
次期繰越収支差額		4,688,416	13,697,804

監 査 報 告 書

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー

理事長 池 田 晃 治 様

令和3年5月14日

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー

監 事 曾 川 祐 治 

監 事 大 神 崇 巧 

私たち監事は、令和2年度公益財団法人広島観光コンベンションビューローの会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び財産目録等の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、監事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

